

研究結果報告書

韓国における日本人コミュニティの形成と宗教的統合
ーソウル日本人教会と釜山日本人教会を手掛かりにー

所属： 東西大学校 教養教育院

役職： 招聘教授

氏名： 李 賢京

本研究は、これまで在韓日本人コミュニティ研究においてあまり注目されてこなかった日本人教会を対象に、どのような特性を持つ人々が集まり、彼らが韓国人・韓国社会とどのように関わっているのかを明らかにすることであった。そのために、第一に、日本人教会の歴史や現状などの実態を把握し、第二に、どのような特性を持つ人々が集中しているのかを分析し、第三に、既存の在韓日本人コミュニティとの比較を通して、日本人教会がどこに位置づけられるのかを検討した。

調査の結果、両日本人教会は、90年代以降に設立され、留学生や駐在員、国際結婚した夫婦とその子どもといったメンバー構成面においては既存の在韓日本人コミュニティと同様であった。だが、韓国人メンバーの割合が比較的によく、日本語講座、日本の高校生対象の韓国歴史スタディ・ツアーの実施、孤児院や老人ホームへの慰問活動などを比較的熱心に行っており、韓国人・韓国社会と積極的に関わりながら活動していることがわかった。また、ソウル教会の場合は、とりわけ担任牧師が日韓の歴史（認識）問題に対する関心が非常に高く、これに関する活動（総理宛に慰安婦問題や靖国問題に関する手紙を送るなど）も韓国内で積極的に展開している。つまり、従来「閉じる」傾向であった在韓日本人コミュニティのなかで、日本人教会はトランスナショナルな動きを実践している「開かれた」コミュニティとして役割をしているのである。しかしながら、日本人教会間の交流や他のコミュニティとの交流はあまりなく、また、最近では教会の後継者問題や信者数の減少など、共通の課題を抱えていた。

以上を踏まえて、今後、学会発表を経て、学術論文誌に投稿する予定である。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

在韓日本人教会の形成と多文化共生ートランスナショナルな動きに注目してー、
李賢京、宗教研究フォーラム、2015年10月31(土) 予定、ソウル大学

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

韓国における日本人コミュニティの形成と宗教的統合、李賢京、日本研究(韓国
外国語大学校日本研究所)、2015年12月末発行予定

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)